

(別紙4(2))

事業所名 : 認知症対応型共同生活介護ハピユシ

作成日 : 平成 28 年 5 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議の取り組みなどを、利用者ご家族に配布し、施設の取り組みの開示を行う。	運営推進会議議事録の内容記録を詳細に明記する。 議事録の構成の熟慮。	①行事、屋外活動記録を解りやすく議事録に記載。 ②施設の取り組みや、行事活動等の議事録を御家族に配布する。	1ヶ月
2	33 (12)	重度化や終末期に向けた方針、指針などの理解、介護者の統一されたケア、他の機関との連携などを理解する。	御本人又、御家族も穏やかに、心安らかにその時を迎えられるよう、終末期ケアのあり方を関わる介護職全てが習得する。	①緊急時、救命救急医療、及び延命措置についての書面作成。 ②御家族との面談。 ③年4回救命救急医療や救命措置などの施設内ミーティング。④その他研修参加。	3ヶ月
3	35 (13)	消防訓練としてこれまで年2回屋間の訓練は行ってきたが、夜間の想定においては行っていない。 24時間を通し認知症高齢者が滞在している事から、夜間の訓練も不可欠である。	いかなる場合においても、高齢者の安全を第一に、職員一丸となり、その際の役割分担をスムーズに遂行できるようにする。	①昼間・夜間共に地域・近隣の方々への声掛けのもと協力を仰ぎ、消防訓練マニュアルを作成する。	2ヶ月
4	26 (10)	各々の高齢者の介護目標を、介護を担うもの全てが同一の目標に向い、介護する。	高齢者一人ひとりの介護目標をスタッフ全員が把握、共有し、日々の援助に活かし、確実に目標達成できるようにする。	介護記録の上段へ、短期目標・長期目標を掲げ、記録をする際に常に介護者の目標を意識し、日々のケアに活かす。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。